

## 1 研究主題

自分らしい学びを見つけよう  
— 子どもの自己選択を大切にしてい —

## 2 研究のねらい

中央教育審議会答申において、「令和の日本型学校教育」が示され、その中に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる必要があると述べられている。

名古屋市では、「ナゴヤ学びのコンパス」として、学びの方針が示され、「子ども中心の学び」を大切に、ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける子を育成することを目指している。「自律して学び続ける」については、子どもたちが、できるだけ自分に合った進度や学習方法、学習内容を選んだり決めたりできるという意味において、個別に最適化することが大切だと述べられている。「ゆるやかな協働性」については、子どもたちが必要に応じて、仲間や大人の力を借りたり、人に自分の力を貸したりすることが大切だと述べられている。

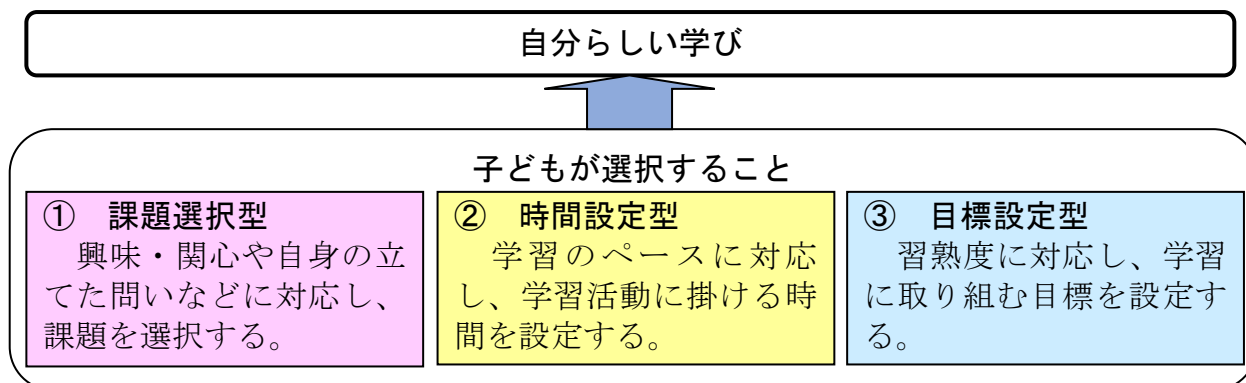
本校では、2年前から「主体的に学ぶ児童の育成」と題し、これまでの実践とICTとを効果的に組み合わせて、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して授業づくりを行ってきた。2年間の実践を通して、ICTを活用することで、前時の学習を振り返ったり、自分の考えと友達の考えの違いに気付いたりすることができた。しかし、本時の学習を次時以降の学習につなげたり、学んだことを生かそうとしたりすることが十分ではなかった。これは、学習の進度や学習方法、学習内容を自己選択する場面を十分に設定しておらず、自らの学習を調整できなかったためだと考える。

そこで、今年度は、「自分らしい学びを見つけよう —子どもの自己選択を大切にしてい—」と題し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指していくことにした。学習の進度や学習方法、学習内容を自己選択する場面を取り入れることで、自分に合ったペースや方法で学ぶことができるようにし、主題に迫っていく。

## 3 研究の内容

### 「子どもの自己選択」について

子どもたちが、自分の学習状況や興味・関心に合わせて、必要な課題や学習活動を選択して個別に学習を進めることができるようにする。



## 4 研究組織

